

平成28年度 大気の現況 — ダイオキシン類 —

ダイオキシン類は、北海道が勝納地区で調査しており、下表のとおり環境基準を達成しております。

ダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成してしまう物質です。環境中には広く存在していますが、量は非常にわずかです。ダイオキシン類は、「青酸カリよりも毒性が強い」といわれることがあります。これは、日常の生活の中で摂取する量の数十万倍の量を摂取した場合の急性毒性のことですので、私たちが日常の生活の中で摂取する量により急性毒性が生じることはないと考えられます。

ダイオキシン類調査結果（平成27年度）

調査地点	調査項目	地域分類	検体数	平均値 (pg-TEQ/m ³)	濃度範囲 (pg-TEQ/m ³)	備考
勝納地区	大気	一般環境	2	0.0081	0.0072 ~ 0.0089	北海道が調査を実施

※ 環境基準：大気 0.6 pg-TEQ/m³